

市民研

NPO 法人

市民科学研究室

活動年報 2024年6月発行

これまでの1年間の活動を紹介しています

[下線を引いた資料](#)はウェブサイトへリンクされています

▶ **市民科学研究室**は「生活者にとってよりよい科学技術とは何か」を考え、そのアイデアの実現を目指しています。次の3つのことがらを軸にして、市民の問題認識力を高めるための講座や勉強会を運営し、市民が主体となった調査研究や政策提言や支援事業を進めています。

1. 科学技術にかかわる様々な意思決定や政策形成への市民参加
2. 様々な社会問題の解決に向けた専門知識の適正な活用
3. 持続可能で生き生きとした生活のための科学研究や教育の実践

▶ **市民科学**とは「市民の、市民による、市民のための科学」です。複雑で高度な専門知に立ち入らねばならない場合であっても、市民がそれを回避せず、しかも専門の細分化に足をすくわれることなく、生活の総合性をみすえて問題解決にあたるのが鍵になります。

定例の活動

① 各種研究会
(現在6つ)

② 市民科学講座

③ 土曜広場
土曜講座

プロジェクト

④ 調査事業(助成)

⑤ 市民測定活動

⑥ 市民科学者育成塾

⑦ 各種プロジェクト
(現在11企画)

資料提供

⑬ 隔月刊
『市民研通信』

⑭ くらしとかがくの
アーカイブ(動画)

⑮ 市民研チャンネル
(YouTube)

⑯ 自分で調べる
図書館
(蔵書・映像資料)

⑰ 市民研サーチライト

講師派遣

⑧ 子ども料理科学教室

⑨ 講演・出張授業

学びのツール提供

⑩ 生活習慣病対策
ゲーム「ネゴバト」

⑪ かるた「熱と暮らし」

⑫ カードクイズ「食と健康」

⑱ 相談窓口
<調べる>のお手伝い

この1年間(2023年6月~)の定例の活動から

① 研究会

▶研究会には誰でも随時参加できます。ただし継続して参加するには、市民研の会員となる必要があります。

時々「公開研究会」を開きます。その場合はウェブサイトで開催を告知します。

低線量被曝研究会 『放射線副読本「放射線被ばくの早見図」100ミリシーベルトの闇』(第2版)を公開

『福島が沈黙した日 原発事故と甲状腺被ばく』をテキストにした読書会を継続中

アーカイブ研究会 講座:『アーカイブの思想』を読む一図書館、そして「独学と在野の知」(講師:根本彰さん)などを実施

『ヒバクシャ・シネマ 日本映画における広島・長崎と核のイメージ』をテキストにした読書会を継続中

食の総合科学研究会 毎年恒例の「お味噌作り講座」を実施(3/3、参加者15名)

『風景をつくるごはん 都市と農村の真に幸せな関係とは』をテキストにした読書会を継続中

環境電磁界研究会 電磁波をテーマに「自分で調べる技術ワークショップ 先行研究の精査」を実施(10/17、参加者6名)

電磁波健康影響を論じた最新の論文集(英文)をテキストにした読書会を継続中

熱と暮らし研究会 「放射温度計を持ってまち歩き(湯島界限)」を実施(8/28、予備1回)

「【集中連載コラム】熱と暮らし」をテキストにした読書会を継続中

生命操作研究会 「かわさき市民アカデミー」で生命操作問題に関する講座を担当(4/8,4/15)

『合成生物学 人が多様な生物を生み出す未来』をテキストにした読書会を継続中

② 市民科学講座

▶次の6種類のオンライン講座を定期的に開いています。市民研会員はどれにも無料で参加できます。それぞれの講座の趣旨、これまで扱ってきたテーマ、講師、これからの予定の確認、参加申込みなどはすべて市民研ウェブサイトで。ご参加ください。

市民科学入門講座 毎月第2月曜日 19時より

▶あなたが呼んで話を聞きたい講師、皆で論じたいテーマなど、ご提案を企画に反映させることができます。

TV科学番組を語り合う 毎月第2、第4水曜日 19時より

▶TVの科学ドキュメンタリー番組を取り上げ、論じ合います。ウェブサイトには関連する番組の放送予定を掲げています。

科学時事・科学論文を読む 毎月最終月曜日 19時より

▶興味深いウェブ上の記事論文を1日1本紹介している「市民研サーチライト」から、好きなものを選んでコメントし、議論します。

著者に尋ねる 随時開催

▶科学と社会に関連する本を最近上梓したその著者を招き、一緒に議論します。

③ 土曜広場・土曜講座

市民研の事務所は東京都文京区湯島の大変交通アクセスのよい場所にあります。土曜日は事務所を一般に開放し、どなたが訪れてもよいことにしています。所蔵資料・映像を自由に閲覧できますし、様々な科学技術関連の問題での相談も受け付けています。午前10時から午後4時半まで、**ボランティア作業**、「土曜なんでも語り」、「土曜ランチ」、「土曜テーマトーク」、「土曜カフェ」という枠を設けています。ただ、参加者やゲストの都合によって、毎回時間枠を調整しますので、毎回の広報を事前にご確認ください。

17時からは市民科学者育成塾のための(毎回単独で塾生以外の方も参加できる)「**土曜講座**」I~Vが第1~第5週にそれぞれ対応させて、開催されます。土曜日でお時間のある日にぜひ一度いらしていただければと思います。

この1年(2023年6月~)のプロジェクトから

④ (助成金を用いた)調査事業

▶2023年度は次の2つの事業を、助成を受けてすすめました。

[市民科学者育成塾企画] 一般社団法人 大竹財団の助成を受けて、スタッフら(理事メンバー4名+1名)で毎週企画会議を開いて試行錯誤を繰り返し、2024年度からいくつかの新プロジェクトや土曜広場・土曜講座をスタートさせるに至っています。

[外環トンネル工事問題] 高木仁三郎市民科学基金 2023年度助成により「外環道大深度工事で発生した振動・騒音・低周波音による被害の実態把握とそれへの対策に関する調査」を実施しました(助成は21年度、22年度に続き3度目)。

市民科学者育成塾 (下記の⑥をご覧ください)

外環トンネル工事問題

2021年度に着手した調査を継続しています。市民研が被害者住民らと共同で「外環振動・低周波音調査会」を立ち上げ、地盤・地質・地下水、振動・騒音・低周波音など多岐にわたる問題を学習しつつ、調布市で発生した陥没事故に関連する振動・低周波音健康被害、建物損壊の実態調査と振動モニタリングの市民計測網の確立を目指しています。奇数週の金曜日の午前にはオンラインで調査会(メンバー10数名)の定例会を開いています。この1年で数回の学習会や見学会を主催し、精力的に活動しています(学習会の動画も公開)。市民研ウェブサイトの次のような報告や質問状を掲載しています。

・[調布市つつじヶ丘での地盤改良工事に伴う、地下水に関連する懸念事項についての公開質問状](#) 2023/8/21

・[外環道大深度工事で発生した振動・騒音・低周波音による被害の実態把握に向けて](#) 2023/10/5

・[東名JCT・Hランプシールドトンネル工事における テールシール損傷についての公開質問状\(その1\)](#) 2024/3/1

⑤ 市民測定活動

「はかる、わかる、そなえる—あなたの街・家・教室の電磁波環境 測定と対策の協働プロジェクト」を展開しています。2020年以来、携帯基地局の計測などを各地の住民とともに実施し、すでに [5件の詳しい報告書](#) を公開しています。またここには公開していませんが、文京区在住、名古屋市在住など数名の方々から相談を受けて、実測して報告書をまとめたり、オンラインで計測の指導をしたりしています。

⑥ 市民科学者育成塾

A・『実践 自分で調べる技術』(岩波新書2020)で示したノウハウを身につける「[自分で調べる技術ワークショップ](#)」(10回構成)

B・様々なテーマで市民科学的な活動に従事する人々を訪ね、聞き取りやお手伝いをする「[現場体験](#)」(年に数回のツアー)

C・「<生活と科学技術>の見取り図」「統計学」「ITの活用」「自分で<作る>」をテーマに各10回の構成される「[土曜講座](#)」

を3本柱として、塾生が、AやBやCへの一般からの単独参加者らとも交流しながら、通年で学ぶプログラムです。

この1年では、次のような活動を実施しました。関連するパンフレットやチラシをリンク先に掲げています。

1) [「自分で調べる技術 ワークショップ」を9回実施](#)

2) スタディツアープロジェクト(PJ)を立ち上げ、[4回のスタディツアー\(現場体験ツアー\)を実施](#)

3) 千葉県市民活動PJを立ち上げ、[自然観察会\(現場体験学習会\)を3回実施](#)

4) 図書館PJを立ち上げ、[関連講座などを実施](#)

5) 廃校有効活用PJを立ち上げ、そのための[事前訪問\(福島県二本松市\)調査を実施](#)

6) 高木仁三郎市民科学基金との共同企画「[インタビューシリーズ 市民科学の調査の現場から](#)」を3回実施(継続中)

▶ [市民科学者育成塾パンフレット](#)

▶ [土曜講座I~V パンフレット](#)

▶ [「自分で調べる技術 お試しワークショップ」無料出前受付 チラシ](#)

⑬ 隔月刊『市民研通信』 この1年の掲載記事・論文一覧(著者の50音順)

▶以下は『市民研通信』第70号(2023年2月15日)から『市民研通信』第75号(2023年4月20日)に掲載された記事・論文の一覧です。これらのすべては、市民研ウェブサイトで全文を読むことができます(電子媒体のみの発行となります)。タイトルなどからすぐさま検索できます。皆さんからのご寄稿もお待ちしております。論文タイトルに添えた[]は号数です。

◆第75号 ◆第74号 ◆第73号 ◆第72号 ◆第71号 ◆第70号

(株)アイカム+上田昌文(市民科学研究室・代表)

・科学映画シンポジウム「いのちの科学映像が切り拓くもの—アイカムの50年の足跡から考える」全記録 [70]

上田昌文(市民科学研究室・代表、外環振動・低周波音調査会)

- ・外環道大深度工事で発生した振動・騒音・低周波音による被害の実態把握に向けて [72]
 - ・調布市つつじヶ丘での地盤改良工事に伴う、地下水に関連する懸念事項についての公開質問状 [72]
 - ・不要になったPCが海外で引き起こしていること [74]
-

桑垣 豊(NPO法人市民科学研究室・特任研究員)

【連載】21世紀にふさわしい経済学を求めて

・第19回[70]・第20回[71]・第21回[72]・第22回[73]・第23回[74]・第24回[75]

【集中連載コラム】熱とくらし 第1回~第9回 [74]

倉本 宣(明治大学農学部)

催しとシチズンサイエンス [72]

子どもの体験活動 [73]

権上かおる(市民科学研究室会員)

日本機械学会イブニングセミナーを23年間実施して [71]

市民研会員有志

私のおすすめ3作品 2023年 [74]

私のおすすめ3作品 2022年 [70]

杉野実(市民科学研究室・理事)

- ・報告 奇跡の自然を満喫しました!-10月22日「長田谷津」観察会 [73]
 - ・報告 「市川市・大町自然公園観察会3『湧き水がはぐくむ春の生命』」[75]
-

瀬野豪志(市民科学研究室・理事&アーカイブ研究会・世話人)

【連載】美味しい理由—「味の素」の科学技術史

- ・第7回「調理」を作っていくのは誰か [70]
 - ・第8回 家庭料理をつくるひとが伝えること [73]
 - ・第9回 アミノ酸の科学者、赤堀四郎(1)「偉人」と「恩義」 [75]
-

橋本正明 (市民科学研究室・会員、市民科学者育成塾スタッフ)

- ・第1回 GIAHS 山梨峡東地域ツアー (2023.09.29 実施) レポート [73]
 - ・市民研がゆく～事業所訪問録～ (2023.12.07 実施) [74]
 - ・第2回 GIAHS 山梨峡東地域ツアー (2024.03.16 実施) レポート [75]
-

林 浩二 (千葉県立中央博物館)

【連載】博物館と社会を考える

- ・第14回 改正博物館法が施行されました [71]
 - ・第15回 市民参加による発見の共有 [75]
-

山口直樹 (北京日本人学術交流会責任者、市民科学研究室会員)

【連載】日中学術交流の現場から 第13回～

- ・第13回 第14回 北京からゴジラ同級生俳優、宝田明さんへの手紙 第四便 [70] 最終便 [71]
 - ・第15回 現代中国の科学技術はどこに行くのか —現代中国の原子力政策の事例を中心に— [72]
 - ・第16回 現代日本における9・11と9・18そして3・11の歴史認識のはざまで考える [73]
 - ・第17回 パレスチナの市民科学者、ガッサン・アンドーニさんへの手紙 [74]
 - ・第18回 市民にとって社会風刺の笑いとは何か—北京でみたぜんじろうの笑いとは自民党や維新と癒着する吉本興業の笑いの差異 [75]
-

山根伸洋 (市民科学研究室会員)

【連載】開発主義政治再考 第9回 まとまらない補論、ないし課題としての技術論 [70]

⑦ プロジェクト

▶ある特定のテーマについて、1年もしくは2年といった長期にわたって本格的に調査すべきだと議論がまとまれば、その事業を「プロジェクト」(PJ)として新たに立ち上げることにしています。プロジェクトはその活動実績や成果を市民研のウェブサイトの各PJのページで公開しています。誰でもいつでも参加できます。ただし継続して参加するには、会員となる必要があります。

子ども料理科学教室 ⑧をご覧ください。

「はかる、わかる、そなえる」⑤をご覧ください。

外環振動・低周波音調査会 ④をご覧ください。

市民科学者育成塾 ④をご覧ください。

VIPROS 生命科学での映像製作の支援 市民科学研究室と(株)アイカムが共同で、有志を募って立ち上げることになったプロジェクトです(VIPROS=Video Production Support in Life Sciences)。医学・薬学・生物学分野において、その研究の意義や生命現象の魅力や奥深さを伝える、公益性の高い科学映画作品を、いかに制作し教育への活用をはかっていくか。その方策を本格的に探っていきます。「[参加・賛同の呼びかけ](#)」をウェブサイトに掲載しています。

図書館 PJ 「図書館プロジェクト」は、図書館の専門家や従事者の方々と連携して、図書館の利活用についての理解を深め、それぞれの地域のことを「自分で調べる」活動を支援し、自分たちで「調べる」ために活用できる図書館作りに関わっていくことを目的としています。市民科学研究室が開設した「自分で調べる図書館」の管理・運営にもあたっています。

千葉県市民活動 PJ 千葉県の主に自然や歴史の自主研究、保全運動などに取り組んでいる団体に焦点をあて、特筆すべき団体については連絡をとって訪問し、すぐれた点を学ぶとともに、諸団体間の交流をさかんにするために何からのお手伝いもしていきます。

スタディツアーPJ 市民科者育成塾の「現場体験」の趣旨をふまえ、「現地に行く」「現地の人々と交流する」「現地の生活を知る」「現地の問題を深く知る」「現地の問題の解決を構想する」を目的としたツアーを企画し、実施していきます。

廃校有効利用PJ 福島県二本松市のある、廃校となってしまう高校の校舎を有効に活用できないか—それを行政と地元住民とNPOとがうまく手を携えて実現する方策を見つけ、今後のまちづくりの先例となるものを創りあげていこう、というものです。

お酒の文化と科学PJ 酒についての種々の研究に目とおし、酒造りの現場を訪ねて取材し、生産者とツアー参加者との交流をはかります。日本の酒造りの現状を把握しながら、私たちに「お酒とのよりよい付き合い方」を考察していきます。

音声ガイドでまち探索PJ GPSと連動してスマホやタブレットで望みの位置で望みの音声を自動再生するアプリ「cocokiku」を用いて、市民が自分のまちをより広く深く知り、外に向かって自分のまちの魅力をより明確に伝えることを目指しています。そのため様々な企画を考案し、実施していきます。

講師派遣

⑧ 子ども料理科学教室

15年以上前から開発と改良を続けてきたプログラムに新しい版が加わりました。「[自炊力を身につける10のプログラム](#)」です。今後は大学初年級の学生さんなど、自炊を手掛けたいと思う方なら誰にでも提供できるようにするつもりです。講座を共同で運営していくことを、食育に関心のある人々に幅広く呼びかけたいと思います。

- ① ご飯が炊ければ、何とかなるぞ
- ② 「お味噌汁+野菜」で一日を始めよう
- ③ 旬の野菜でおかずを作る
- ④ 味を決める「だし」、調味料の「さしすせそ」
- ⑤ 麴(こうじ)の力 発酵の力
- ⑥ うまく保存、うまく作り置き
- ⑦ 蒸す、茹でる、炒める、ならまかせて!
- ⑧ ○○料理に挑戦! レシピの読み解きを学ぶ
- ⑨ マイレシピでおいしく作る
- ⑩ 味噌の手作りに挑戦

⑨ 講演・出張授業

電磁波&デジタル機器問題や外環道トンネル工事被害問題、生命操作問題などのテーマで、この1年で10数回の講演を関東各地で行いました。種々のテーマでの講演をお引き受けできますので(扱ってきたテーマについては[「講師派遣の実績」](#)をご覧ください)、ご連絡をお待ちしています。また、⑧に関して毎年、江東区が主催する「子ども料理団」の講座を引き受けています。自治体がか主催する市民講座などにリクエストや提案をしていただくと、地元での実施が定例化できるかもしれません。

学びのツール提供

▶いずれもウェブサイトから購入できます。

⑩ 生活習慣病対策ゲーム「ネゴバト」

生活習慣のジレンマ(板挟み)を話し合うための対面交渉型ゲーム。健康教育教材として大学や高校、地域保健サービスの現場で活用され、好評です。

⑪ かるた「熱とくらし」

日常の生活のなかで出会う、熱をめぐる様々な問題を例示し、賢い熱の使い方を端的に示しました。学校や家庭や環境教育の様々な場で使えます。

⑫ カードクイズ「食と健康」

知っておいていただきたい「食と健康」に関する、科学的なデータに基づいた知識を、名刺大の美しい42枚のカードのクイズにしました。



資料提供

▶②「市民科学講座」や③「土曜広場」をはじめ、市民科学研究室では、講座、会合、イベントなどのほとんどを動画に撮って残しています。市民研会員が自著や推薦図書を語る「[語っていいとも](#)」というシリーズもあります。それらのうち主なものはすべて「[くらしとかがくのアーカイブ](#)」という独立したサイトに掲載し（現在までに約 300 タイトル）、レイチェル会員とダーウィン会員であれば、それらは見放題です。そのなかには YouTube に無料で一般公開しているものがあります（「[市民研チャンネル](#)」）。そこでは、講座やイベントのお知らせのみならず、市民研の独自の切り口で時事的問題も扱っています。「[自分で調べる図書館](#)」や「[市民研サーチライト](#)」と併せて、「科学と社会」の問題への考察を自分なりに深めていくのに役立てていただければと思います。

▶市民研は「資料提供」は一方的になされるものではなく、皆さんからのご寄稿、ご投稿、お問い合わせなどを受けて、やりとりをしながら行っていくものだと考えています。ぜひ「[市民科学目安箱](#)」のサイトから、いろいろなお意見や情報を寄せていただければと願っています。「[相談窓口 <調べる>のお手伝い](#)」も開設しています。

⑭ くらしとかがくのアーカイブ（動画）

市民研が主催する様々な講座やイベントやインタビューなどの動画をほぼ全部を収めているサイトです。市民研のレイチェル会員もしくはファール会員であれば無料で見放題ですが、それ以外の方々には有料となります。連続講座「日本の市民科学者—その系譜を描く」（12 回）、「生活のなかの科学技術リスク」（13 回）、ブックトーク「語っていいとも」（現在までに 17 回）、「食と農の市民談話会」（9 回）、公開研究会……など、定例の講座以外の動画も満載です。

⑮ 市民研チャンネル（YouTube）

「くらしとかがくのアーカイブ」の動画のうち、一般公開できるものは YouTube に載せています。2024 年 1 月の時点で、チャンネル登録者数は 5000 人を超えました。

⑯ 自分で調べる図書館（蔵書・映像資料）

市民科学研究室は「科学と社会」に関連する書籍や雑誌特集号や報告書やパンフレットなど約 5000 冊を 31 のジャンルに分類して所蔵しています。事務所内であれば、誰でもいつでも閲覧できます。またそれらは一般の図書館同様に PC から書名・著者名・出版社…などから検索ができるようにしています。また市民研の会員であれば、これらの書籍を 1 ヶ月間借り出すことができます。

⑰ 市民研サーチライト

市民科学研究室の日々の活動のなかで出会ったネット上の有用な情報（記事、論文、動画、書籍など、英語文献も含む）を 1 日・1 篇で紹介しています（2017 年 7 月～）。投稿も歓迎しています。また、これらは②のなかの「科学時事・科学論文を読む」で取り上げて議論する対象としています。

⑱ 相談窓口 <調べる>のお手伝い

どんな人でも（学生や場合によっては中学生や高校生でも）、普段の生活の中で遭遇した問題で、「気になるけれど、専門的で難しそうに見える」「興味はあるけれどどう調べていいかわからない」ものがきっとあります。電話やメールでそれを受け付けて、オンラインでの無料相談に応じます（30 分程度）。市民研のこれまでの蓄積を、直接の対話において生かすことになります。



ご入会(会員登録)／ご寄付のご案内

▶市民科学研究室(市民研)の活動は会員となってくださる方々の会費やご寄付によって支えられています。市民研の活動にご賛同いただける方、支援をしていただける方には、ご入会やご寄付をお願いしています。

会員登録

年会費を送金して次のいずれかの会員になることができます。

- ★正会員(レイチェル会員)……………年会費 10,000 円(議決権、動画見放題、講座参加費無料)
- ★賛助会員Ⅰ(ファール会員)……………年会費 5,000 円(動画見放題、講座参加費無料)
- ★賛助会員Ⅱ(ダーウィン会員)……………年会費 3,000 円(講座参加費無料)

会員になると、以下のサービスを受けることができます。

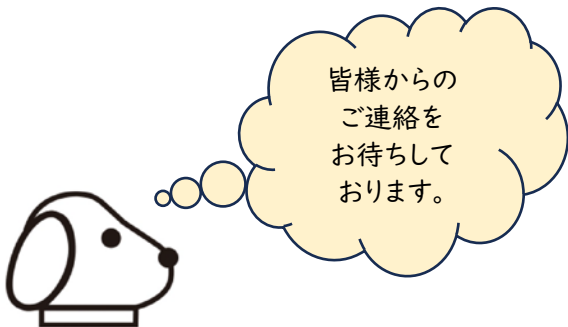
1. 「市民研メーリングリスト」への登録(登録と解除はご本人の意向で決めます)
2. 市民科学講座などイベントへの参加費は連続講座や食材費を要するものなどを除き無料
3. 市民研の各種研究会への参加
4. 市民研の講座などの動画がいつでもどれでも見放題(レイチェル会員とファール会員のみ)
5. 市民研が刊行した出版物の寄贈(レイチェル会員のみ)
6. 市民研主催の市民科学講座・各種イベント・研究会での配布資料の提供
7. 市民科学研究室所蔵の書籍・文献資料や映像資料の借り出し(期限 1 ヶ月)

送金の方法は、次の「ご寄付」に記したのと同じ方法でお願いします(市民研ウェブサイトの「入会と会費」にも記しています)。

ご寄付

一口 1,000 円から受け付けております。ご送金の方法は以下のいずれかでお願い致します。

- ①郵便振替用紙にて……………口座加入者名:市民科学 振替口座番号:00160-4-608503
- ②クレジットカード決済……………市民研ウェブサイトの「ご寄付・ご支援」を開き、そこにあるオンライン決済 PayPal のカートより
- ③お持ちの銀行口座から……………「ゆうちょ銀行」支店名:〇一九 口座番号:608503 宛に



NPO 法人 市民科学研究室

〒113-0034
東京都文京区湯島 2-14-9 角田ビル 2F
Tel:03-5834-8328
Email: renraku@shiminkagaku.org
<https://www.shiminkagaku.org/>